

## 改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(平成19年6月1日現在)
	自己	外部				
1	7	6	共用空間の中に、利用者がくつろげる場所を工夫する。	現在の共用空間の見直しを行ない、利用者と話合いながら、どのような環境をつくるか検討する。	年間を通して	1階のリビングに畳のスペースをつくり、くつろいだり、仲の良い人同士で過ごせるようにし、大変喜ばれている。また、他者と離れて一緒に過ごせることが出来るよう廊下にもくつろげるスペースをつくった。
2	35	27	一人で出来ることや、個々にしたい事が毎日の中で行なえるようにする。	利用者個々の出来る事、出来ない事を把握すると共に、個々の想いを汲み取れるように介護計画に反映できる様にする。	毎月	アセスメントシートを改良し、よりご本人の想いを汲み取れるようにしている。そこから介護計画を作成する事で自立支援や、役割、個々の想いの達成が出来るように支援を行っている。
3	124	67	家族の方への日常の様子への情報提供をより具体的に行う。	対話だけでなく、写真などを活用した情報提供を計画する。	毎月	毎月ケア担当者から写真付きの手紙をお送りし、日常の様子について報告するようにしている。また、来訪時には近況の報告を行うようにし、生活の様子について話し合うようにしている。
4	131	70	地域の方たちとの交流を深める。	運営推進会議や地域行事で地域との交流を図り、関係を深めていく。	運営推進会議時	運営推進会議ではホームの前の公民館で行なっている、ふれあいサロンの方々も参加して下さり、ホームの理解を深めてくださっている。また他の地域の方々もよく参加して下さり、関係を深める事が少しずつできてきているので、これからさらに交流を深める機会をつくるようにしていく。
5	90	51	ホームに閉じこもらない生活を送っていただけるよう利用者個々のいきたい場所、楽しみをつくれるようにする。	毎月のカンファレンスの中で利用者一人ひとりの要望を話し合えるようにする。	毎月	毎月行事としての外出を計画し、季節感を味わったり、楽しみとしての外出を支援できる様に取り組みを行った。また、個々のいきたい場所や楽しみをアセスメントし、介護計画としてチームで取り組めるようにしている。